

令和8年 3月号(第249号)

# 小松公民館だより

## こまつ 3月

西条市小松公民館 〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲 3008 番地  
TEL・FAX:(0898)72-2631 E-mail:komatsu-k@saijo-city.jp

小松小学校校区の人口	男	2,519	-6
(前月比)	女	2,813	+25
	合計	5,332	+19
【令和8年1月末現在】	世帯数	2,618	+30

### 令和7年度 西条市文化協会 「芸術文化賞」受賞

1月29日(木)西条市総合文化会館において、西条市文化協会「芸術文化賞」贈呈式が行われ、文化協会小松支部からは、お二人の方が受賞されました。

受賞おめでとうございます

「芸術文化功労賞」  
山本ちさとさん

「芸術文化奨励賞」  
嶋崎涼子さん



### 卒業プロジェクト『世代をこえて、語らおう～つなげよう、つながろう』

2月4日(水)小松小学校で6年生を対象とした卒業プロジェクトが開催されました。地域の高校生や小松地域の方々と、出されたお題について輪になって語り、自分の思いを伝えました。お題が進むにつれ、緊張がほぐれ笑顔で楽しそうに語る時間となっていました。そして、小松小学校卒業生の伊藤杏果(いとうももか)さんによるギター弾き語りをみんなで鑑賞し、先輩のお話や迫力のある歌声、素晴らしいギター演奏に感動していました。



- 『お題』
- 今日の朝ごはん
  - 好きな教科
  - 苦手なこと
  - 今、頑張っていること
  - 将来の夢
  - 今、大切なこと



1月30日(金) 《女性学級》  
『ホウ酸団子』づくりを  
開催しました!

今回はぬか入り!



小松地区婦人会のみなさん  
ありがとうございました😊

2月10日(火) 《ほがらか健康教室》 高齢者カフェ内で  
開催しました!

講師に、西条市スポーツ推進委員  
会長 曾我部 公代氏・曾我部 伸介氏を迎え、  
軽スポーツ **モルック** に挑戦しました😊

人と人をつなぎ、  
会話が自然と生れる  
和やかムードの  
真剣プレイ!



### 令和8年度 小松公民館サークル代表者会 お知らせ

サークル代表者会を下記のとおり開催しますので、登録したサークルの代表者は、必ず参加してください。(代理可)

- 開催日時:3月4日(水)11:00~
- 開催場所:小松公民館 大会議室

### 小松わいわいカフェ『高齢者集いの場』

高齢者が気軽に立ち寄り話ができる集いの場で、工作や軽スポーツなどのレクリエーションをしています。見学だけでも大丈夫です。

～遊びに来てみませんか?～

日時:3月10日(火)  
9:30~11:30

場所:小松公民館 大会議室

対象者:65歳以上の方、ご家族の方 等

内容:防災のお話

問合せ:西条市地域包括支援センター  
西条西部・小松(担当:藤原)  
Tel:0898-52-8221

持参物:水分・老眼鏡・筆記用具等

### つばきカフェ

日時:3月18日(水)10:00~11:30

場所:小松公民館 研修室

内容:落語(立の家 亀鶴氏)

カフェをしながらの団らん・介護相談など認知症の方、そのご家族、認知症について知りたい方、地域のどなたでもご参加いただけます。

ケアマネジャー、社会福祉士、保健師など、専門職が相談に応じます。

問合せ:西条市地域包括支援センター西条西部・小松  
担当:藤原 Tel:0898-52-8221

♪お茶を飲みながら、気軽におしゃべりしませんか

### 《家庭教育学級》

#### ～野菜ソムリエのパン教室～

焼きたての幸せな香りをあなたに  
《メニュー》フォカッチャ、ブラウニー  
とろとろスープ

- 日時:3月16日(月) 10:00~13:00(予定) **募集中!!**
  - 場所:小松公民館 調理室
  - 対象:一般成人
  - 参加費:実費800円
  - 講師:加藤 智子氏(野菜ソムリエ)
  - 持参物:エプロン、三角巾、マスク
  - 定員:10名(先着順)
- ※定員になり次第締め切ります。  
☆お問合せ・お申込み☆  
小松公民館 ☎0898-72-2631

### ロビー展:写真講座

## 行事予定 3月

1	日	休館日
2	月	
3	火	
4	水	サークル代表者会 11:00~
5	木	
6	金	女性学級「韓国料理教室」 10:00~
7	土	休館日
8	日	休館日
9	月	
10	火	小松わいわいカフェ 9:30~
11	水	
12	木	小松公民館協力委員会 16:00~
13	金	
14	土	休館日
15	日	休館日
16	月	家庭教育学級「パン教室」 10:00~
17	火	
18	水	つばきカフェ 10:00~
19	木	
20	金	休館日・春分の日
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	
31	火	

### メンバー募集!! ヨガサークル

ヨガサークルメンバー募集! 50代から80代まで、幅広い年代で和気あいあいと活動しています。体が硬くても大丈夫! 無理なく自分のペースで心身をリフレッシュしませんか?

- 日時:第1~3金曜日 13:30~15:00
- 対象:初心者・シニア世代大歓迎
- 体験:1日体験(随時受付中)

活動日は小松公民館までお問合せください

みなさまのご参加をお待ちしています。  
小松公民館:0898-72-2631

2月14日

# パレンタイムイベント

開催しました

ゲームでは、小松小学校の先生3名にご協力をいただき先生当てクイズをしたり、リズムゲームをしました😊  
直野 朱美さんのエレクトーン演奏では、みんなが知っている楽しい選曲で盛り上がりました♪  
クッキーメッセージでは大好きな人にありがとうをチョコペンで描いてプレゼント用に袋詰めし持ち帰りました。  
そしてハートのメッセージカードにありがとうの思いを書き、小松公民館に貼り出しています。



【主催】小松地区青少年健全育成協議会

2月15日愛媛大学社会共創学部 佐藤大槻氏をお招きし  
～演題：『小松藩・西条藩の陣屋について』～

●歴史講座●を開催しました

57名の参加者へ、小松・西条陣屋から移築された門を中心に建築史的調査を基にお話しいただきました。



高齢者の方々に  
麻雀を教えてください  
ボランティアの方

募集中です!!

麻雀の楽しさ  
教えてください😊

☆お問合せ先☆  
小松公民館 ☎0898-72-2631

3月8日(日)  
11:00~15:00頃

## かわらだに マルシェ

(荒天の場合3/15日曜日に延期)

第61番札所香園寺 第二駐車場にて開催

12:30~  
IPPO DANCE STUDIO  
ダンスパフォーマンス

13:00~  
谷口 晃さん  
弾き語りライブ

《フード・ドリンク販売》  
☆パンとお菓子  
☆居酒屋さんの美味しいもん  
☆りんご飴  
☆チュロスと飲みもの

《かわらだにバザー》  
☆フリーマーケット  
☆野菜、焼き芋販売

13:30~  
妙口原獅子舞保存会  
獅子舞披露

14:00~  
クイズ王を決めよう!  
川原谷あるあるクイズ

【主催】川原谷自治会

(駐車場)  
会場内または  
Mac 小松店西側  
をご利用ください。

### 郷土資料展示室から

企画展「午年なので馬・うま・ウマ」

今年の干支である「午」に注目。「馬之絵の殿様」  
として親しまれる小松一柳家10代当主 一柳紹念  
(ひとつやなぎ つぐむね)が描いた「馬」をはじめ、  
馬にまつわる様々な資料を紹介。



### 「近藤篤山先生旧邸」

高校生ガイド企画!

小松が誇る文化施設であり、県内唯一の公開武家  
屋敷である「西条市小松史跡近藤篤山先生旧邸」を、  
小松高校生がガイドとして案内いたします。

～この機会に、ぜひ篤山旧邸の見学はいかがですか～

●開催日時:3月14日(土)10:30~12:30

※事前予約不要 ※入館料 無料

※どなたでもご参加いただけます

主催:愛媛県立小松高等学校

ソーシャルチャレンジ for HighSchool 事業



・会期:開催中~3月29日(日)

・入場料:無料

・時 間:10:00~18:00(郷土資料展示室は17時まで)

・場 所:小松温芳図書館・郷土資料展示室

☎(0898)72-5634 小松町新屋敷甲 3007-1

・休 館:月曜日、3/31(火)

～毎月10日は人権を考える日～

出典:松山地方法務局・愛媛県人権擁護委員連合会主催「第44回全国中学生人権作文コンテスト」  
愛媛県大会 最優秀賞(松山地方法務局長賞) (松山地方法務局ホームページ)

### 受け入れること

西条市立小松中学校 2年 畑中 希心

僕は難聴だ。この障がい、悲しい出来事もたくさんあった。それでも今、みんなは難聴の僕を受け入れてくれている。

僕は、生まれつき音が聞こえない。生まれてすぐは乳を全然飲まず、死にかけたらしい。ようやく乳を飲むようになった後、僕は耳が聞こえないのだと親は医者から聞かされた。母はショックで、とても悲しんだ。それでも、僕を幸せにしようと、一歳二か月の時に右耳、一歳六か月の時に左耳の手術をして、人工内耳というものを付けた。それで、音が聞こえるようになった。

とても不思議だった。なぜ、障がい者である僕を幸せにしようとしてくれるのか。でも、そのことを両親には聞けなかった。

そうして、僕は松山聾学校の幼稚部という難聴のための幼稚園に入学し、卒業後は地元の小学校に入学した。みんなと初めて出会った場所だ。

みんなは僕のことをとても不思議そうに見てきた。だけど、すぐに仲良くなった。けれど、友達と呼べるほど仲良しになれる人はいなかった。そして、何か月か過ぎると、一人、また一人と離れていき、僕はとうとう一人ぼっちになった。とても悲しかった。もっとみんなと話したい。けれど、話したら嫌われそうだという気持ちが強かった。だから、担任の先生と話したり、本を読んだりして過ごすことが多くなった。正直、寂しかった。ただ家では、オンラインゲームで楽しく過ごすことができた。僕の心の休けい所だった。

五年生になったある日、オンラインゲームのチャットで、「僕、実は難聴なんだ。」と思いついて言った。すると、「難聴は帰れ。」と心ない言葉を投げられた。その後も「障がい者は要らない。」「とっとと消えて！」など、残酷な言葉をいくつも投げられた。そして、ついには仲が良いと思っていた人からも悲しい言葉を投げられ、いじめられた。とても辛くて、悔しかった。大切な人に裏切られ、たまらなかった。障がい者として生まれたことを僕は憎んだ。

最悪の気持ちがしばらく続いた。でも、ネットでいじめられたことや難聴という障がいについて、みんなに知ってもらいたい、だまっではいけないという気持ちの方が強くなっていった。それで勇気を出して、別のオンラインゲームで、再び「難聴だ。」と打ち明けた。すると、仲の良い人たちから、「どうして早く言ってくれなかったの。」となぐさめられた。こんな自分を受け入れてくれる人がいると思ううれしかった。救われた思いがした。そして、もっと多くの人に難聴のことを知ってほしいと思うようになった。だから、小学校でも勇気を出してみんなと話そうにした。すると、そのうち友達と思える人ができ始めた。毎日の学校が楽しくなった。

僕は、小学校を卒業し、中学校に入学した。そして、他の小学校の生徒とも一緒になった。少年自然の家や体育大会などの行事で、心配事はいろいろあった。でも、みんなのサポートがあり、楽しく過ごしたり練習したりできた。みんなは僕のことを受け入れてくれていると安心している。

けれど、まだ不安が心の底にある。また、いじめられるのではないかと心配が、心の中から消えない。僕はおそろるおそろる友達に聞いてみた。

「なぜ、僕を大切にしてくれるの?」と。

すると、

「君は友達だから。難聴だったとしても、それ以外は同じだから。」

と言ってくれた。その言葉で、今まで僕に関わってくれた家族や大人たちが、なぜ可愛がってくれたり、怒ってくれたりしたのか、疑問が全て解けた気がした。僕は、自分を健常者とは別の、違う存在のように感じていたが、家族や大人は、同じ子どもとして、対等に見て接してくれていたのだ。心の底から感謝し一人で涙を流した。

僕は今、普通に生活を送っている。家族がいて、友達もいる。だけど、難聴という他の人とは少し違う生活を送っている。不便なところはあるが、それ以外は何も変わらない。

人はみんな、それぞれ人権を持っている。人権は、この世の中で、人らしく幸せに生きる権利だ。健常者の人たち、難聴者の人たち、他に障がいのある人たち、人権はみんなに平等に与えられている。それなのに、少しの違いを理由に、受け入れなかったり、いじめたりして奪ってはいけない。障がいがあっても同じ人間なのだ。それぞれの個性を受け入れて認め合うことで、みんなが幸せになれる。もし困っている人がいたら、こう言いたい。「みんな同じ人間だ。だから、胸を張って前を向こう。」

僕は、これからも明るく幸せに生きていきたい。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課